

RESASを活用した 問題解決型学習

～ 地域が抱える課題の解決策を導き出そう ～

神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校
乾 浩 幸

情報科の 最大の目的

情報科

生徒

生徒 + 社会で通じる説得力

世の中で活躍する社会人を輩出

研究発表の流れ

1. 最初に考えたこと ⇒ 「どうすれば...」
2. 「身につけさせたい力」
3. 「レベルの高い思考を促すには」
4. 「統計データシステム RESAS の活用」
5. 単元計画
6. 授業展開
7. まとめ

最初に考えたこと

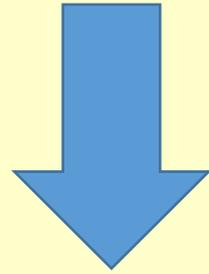
どうすれば、目の前にいる生徒たちが
将来世の中で活躍できる社会人になるか？

どうすれば...

生徒

+ 社会で通じる説得力

一般企業でも通用するような報告書を作成することができれば説得力のあるストーリーが作れるだろう。



問題解決A4報告書
北陵バージョン

Step1 現状分析

毎日新聞のオンライン版にある2014年5月9日の記事「2040年消滅可能性896自治体」とある。によると、沖縄県では10の自治体、神奈川県では9つの自治体が消滅の可能性がある自治体と定義されてしまった。

計に基づく

(参考 URL

Step1 現状分析

三大都市圏への人口の流入数は2013年に約9万人にもなった。このままでは、多くの地方自治体がなりたたなくなってしまう。

Step2 原因分析 (WHY ツリー)



Step2 原因分析

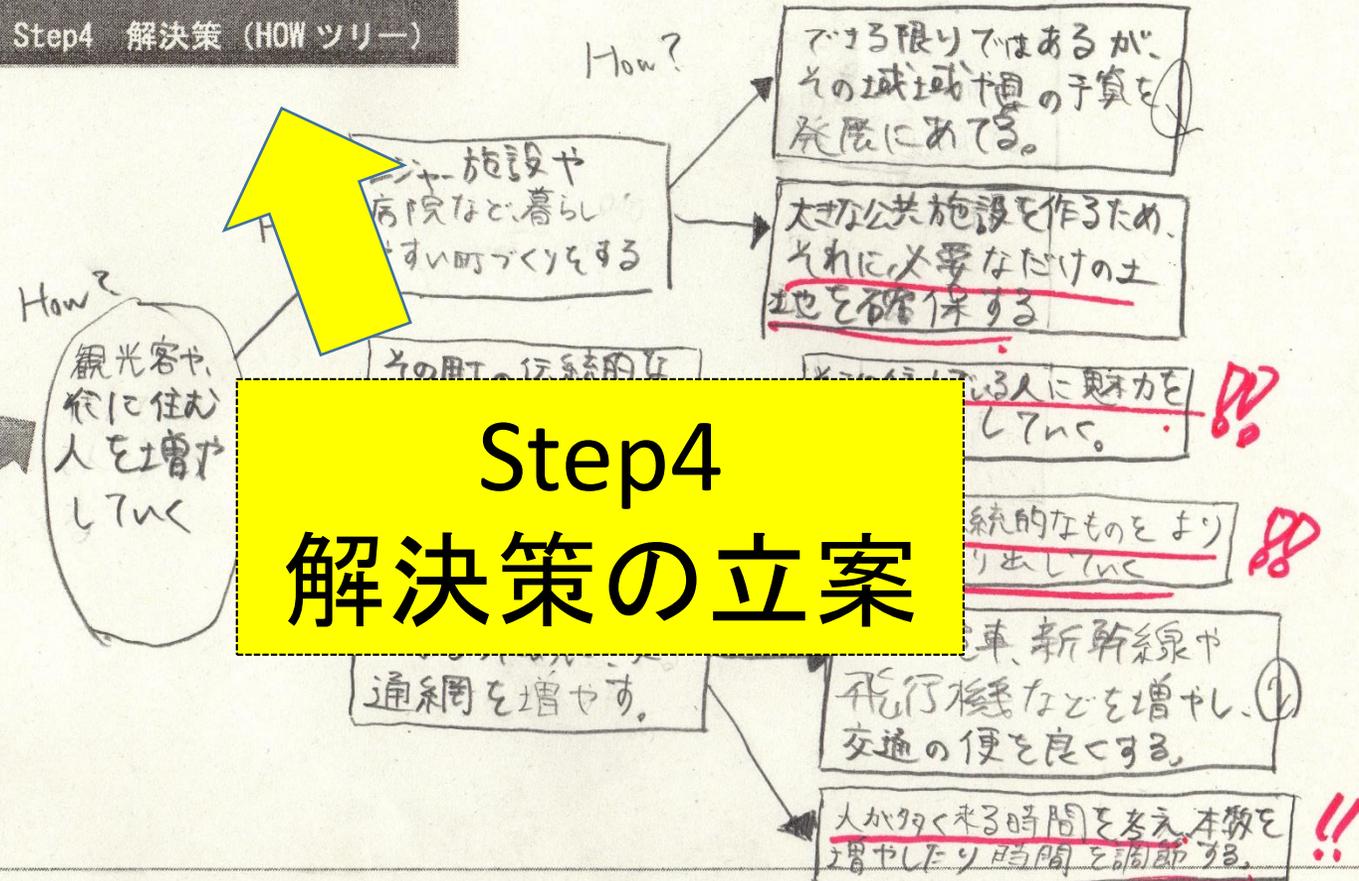
Step3 目的の共有

50年
孫にも箱根を
満喫し
おう!

Step3 目的の共有

発展に繋がりたい!

Step4 解決策 (HOW ツリー)



Step4 解決策の立案

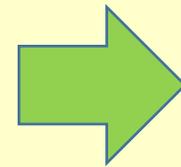
身につけさせたい力

世界は、ルールなき時代へと突き進んでいる...

既存のものに身を任せるのではなく、
自ら原因や解決策を考える癖をつけるべきだ。
自分の考えを発信する力を伸ばす必要もある。

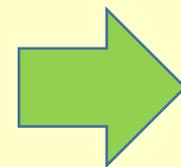
身につけさせたい力

解決すべき
課題は何？



よし、解決策
を考えよう！

なぜ？どうして？
どうやって？



たぶん、こうだな。
ひょっとしてこうかな？

レベルの高い思考 を促すには

身近にある大きな問題を取り上げれば
良いのではないだろうか？

「2040年消滅可能性896の自治体」を紹介
してみたらどうだろう。

統計データシステム RESASの活用

既存の統計データシステムRESASから入手できる情報を活用すれば、効率よく原因分析ができ、本題である解決策立案にすぐに取り組めるであろう。



R



E



S



A



S

Regional

Economy

Society

Analysing

System

地域経済分析システム

2017.06.15 Updated

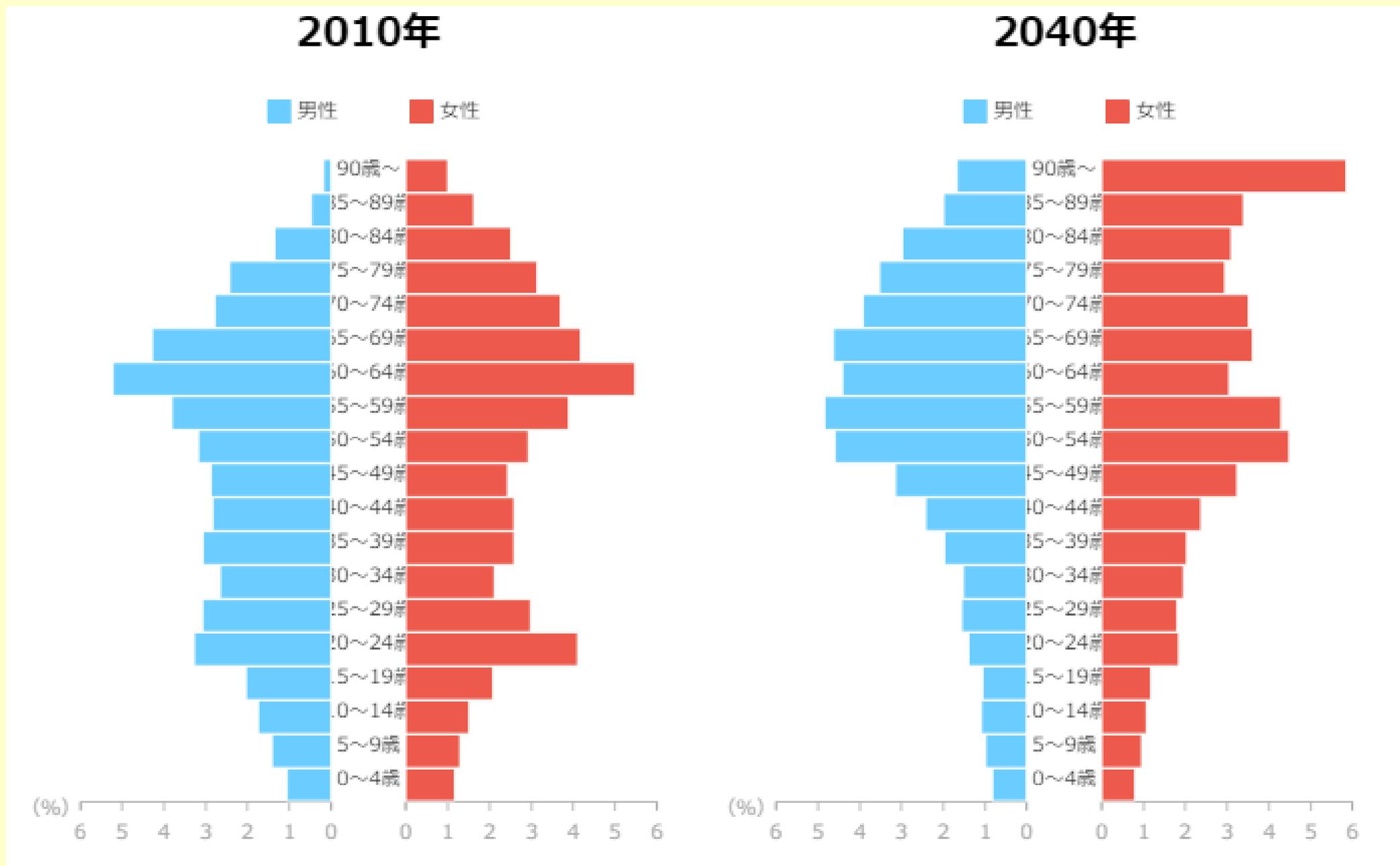
ニュース・イベント

関連サービス

RESASKI 様

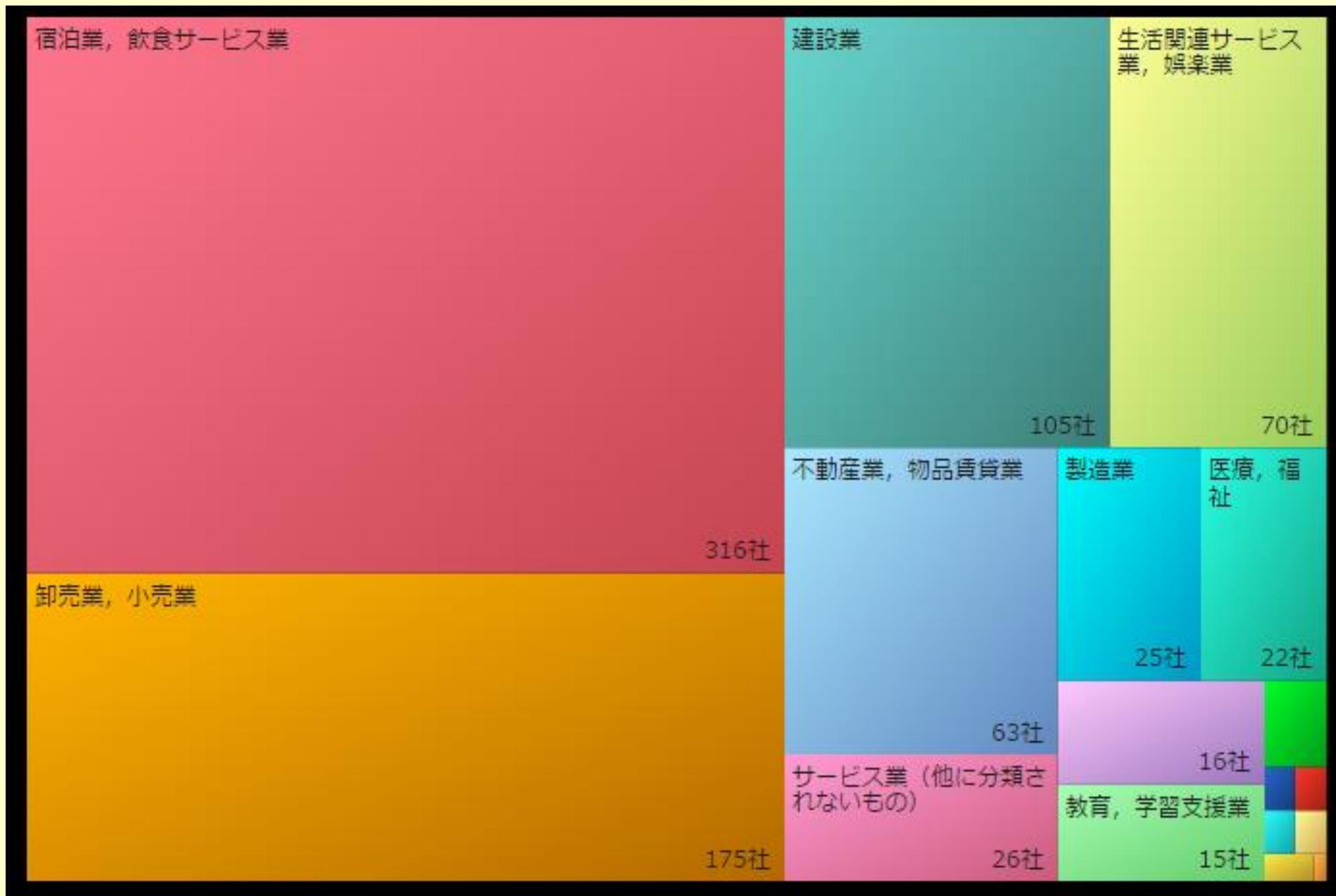


例1 箱根町の人口



例2 箱根町 企業数

2014年度
843社



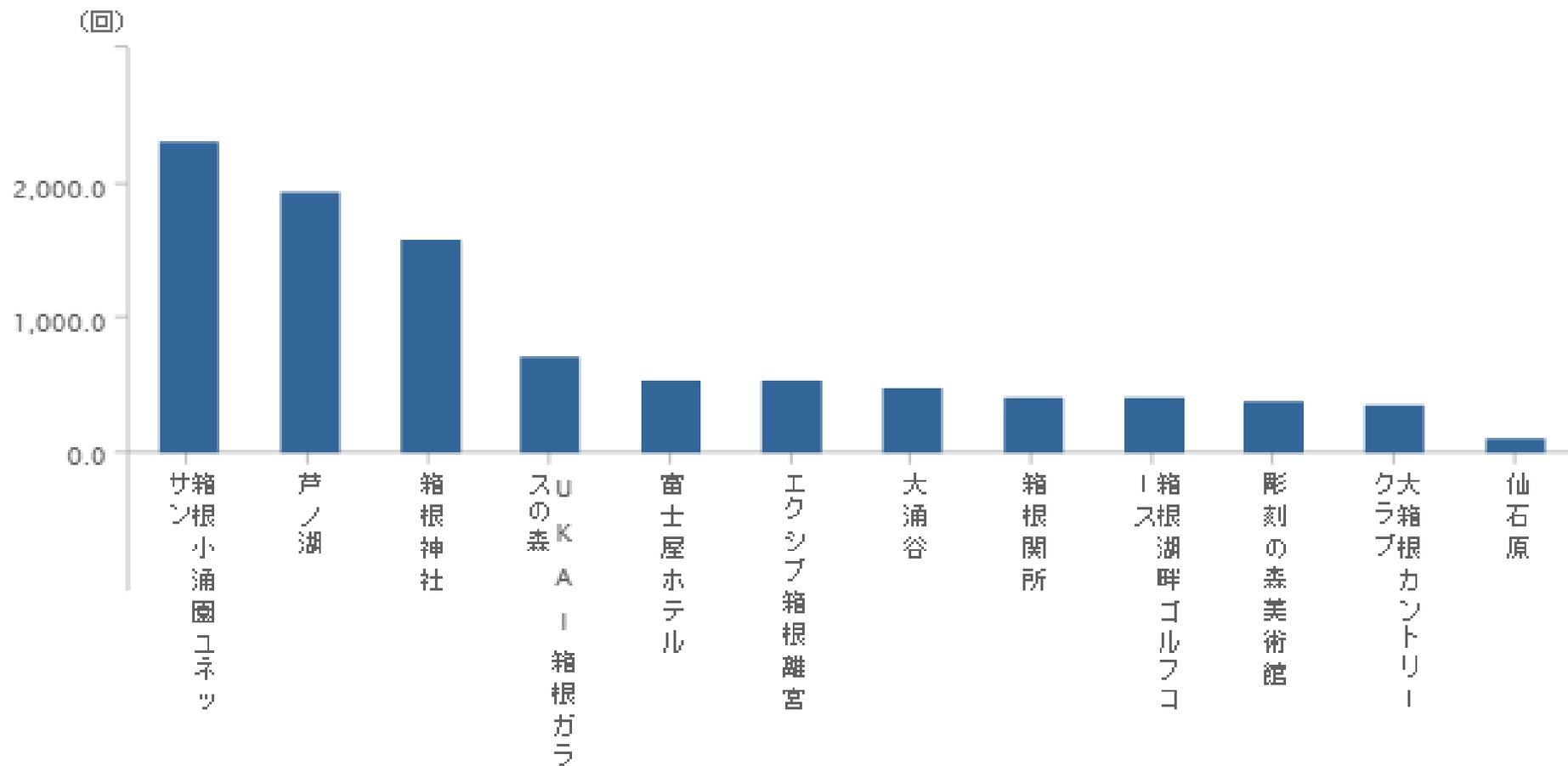
例3 箱根町 カーナビ 目的地検索

指定地域の目的地一覧

表示年月：2015年すべての期間（休日）

指定地域：神奈川県箱根町

交通手段：自動車

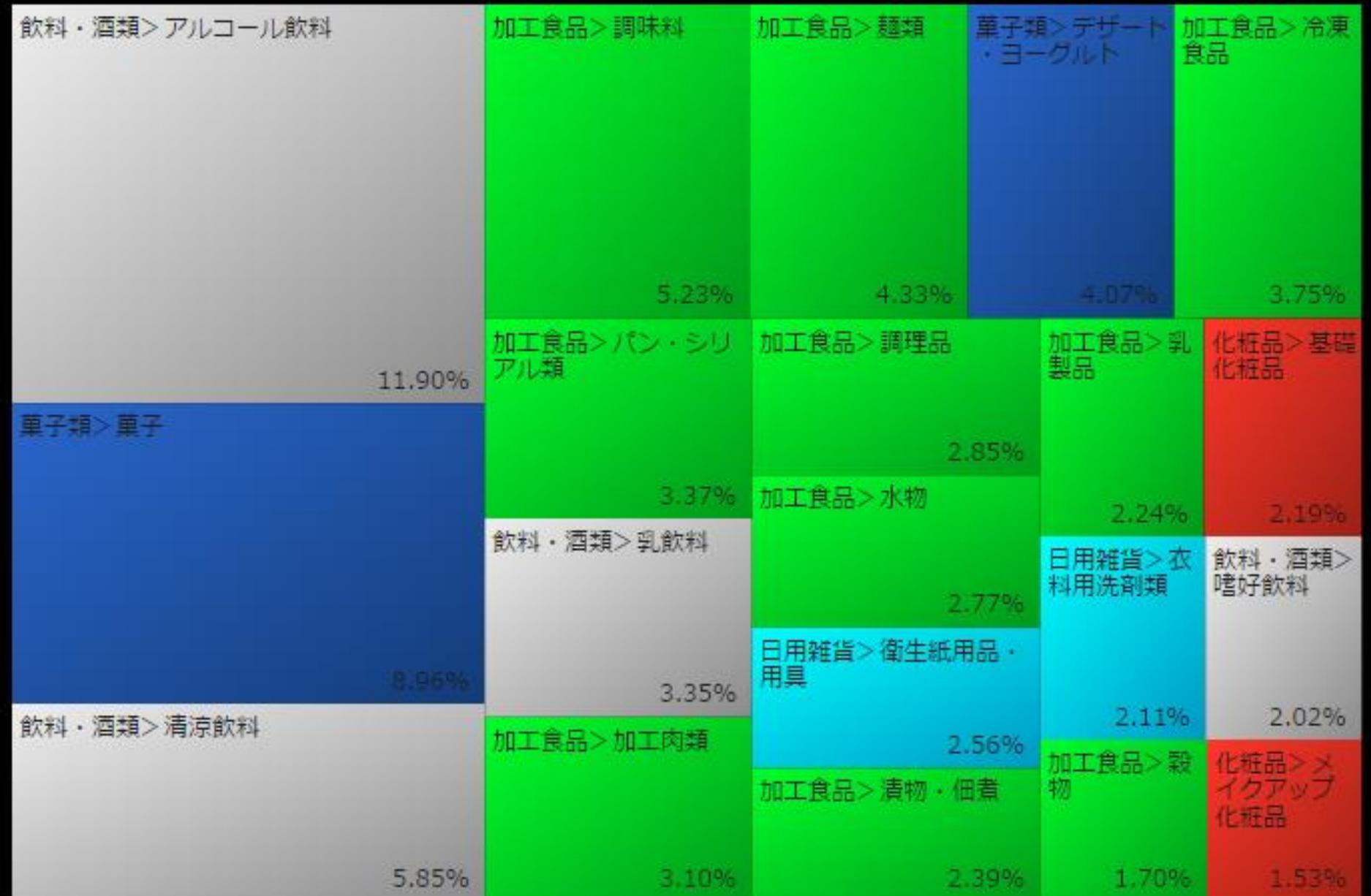


例4 神奈川県

商品購入割合

2015年すべての期間 購入金額（地域別商品割合）中分類

神奈川県



単元計画

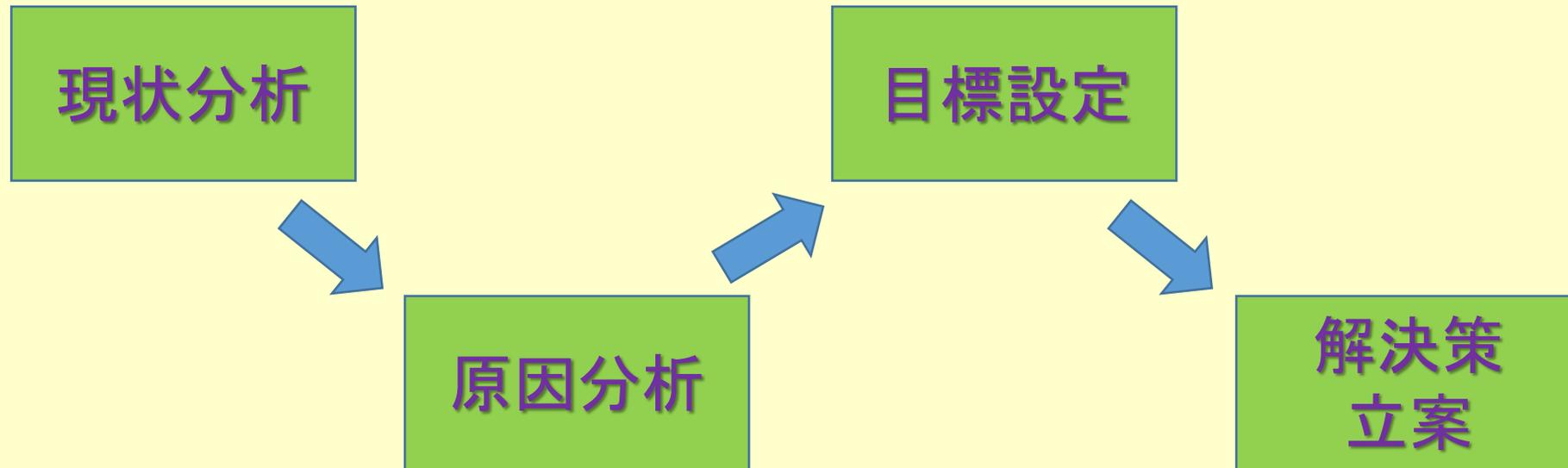
問題の発見・分析と解決の方法

指導にあたって

- 生徒へのメッセージをわかりやすく伝える。
(授業で学ぶことと実生活との関係を事例で示す)
- ルーブリックを活用し、生徒の目指すべき方向を示す。
 - S HOWツリーを作成し、かつ、社会でも通用するような解決策を複数記入できており、優先順位もついている。
 - A HOWツリーを作成し、かつ、社会でも通用するような解決策を記入できている。
 - B HOWツリーを作成し、解決策のなかで優先度をつけている。
 - C HOWツリーを作成しようとしているが、規則に沿っていない。

ねらい

- 「社会で通じる説得力」を身につける。
- 説得力があり、原因を直接解決するストーリーを組み立てる。



指導計画

1 時間目	ロジックツリーの使い方
2 時間目	地方創生の事例や仕組みなど
3 時間目	問題解決 A4 報告書
4 時間目	解決策報告会
5 時間目	地方の成功事例について調べる
6 時間目	実現可能アイデアを見つける

授業展開

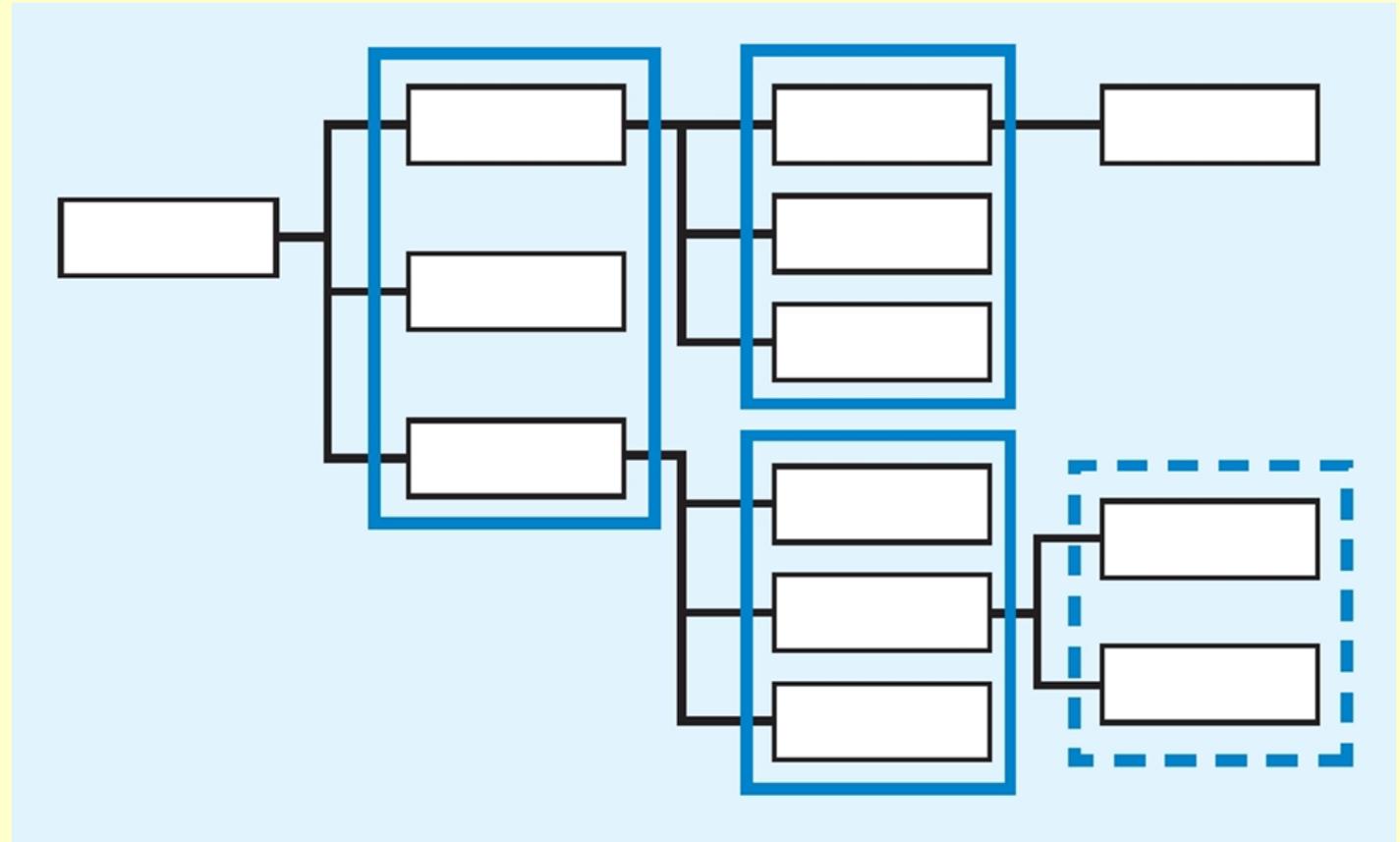
一般社会に存在する問題を発見し、解決方法を導き出せるか？そして、湧き出るアイデアからより具体的なものを選び、絞り込むことができるか？

これらのポイントを重視し、授業を進めることとした。

生徒の関心を引き出すには

ロジックツリーを活用し、「なぜ?」「どうやって?」を掘り下げる方法を身につける。

⇒ WHYツリー
HOWツリー



生徒の関心を引き出すには

- 地方創生の事例や地方の抱える課題について紹介する。

例えば、箱根を例にあげると、大涌谷周辺の火山活動に伴い周辺の入山規制が一時的に実施されたことを受け、防災への取り組み強化や素早い情報提供により、来訪者に安心して観光を楽しんで頂くような態勢をとっている。

参考URL 箱根全山「大涌谷火口周辺情報と防災への取り組み」
<https://www.hakone.or.jp/volcanic/>

問題解決A4報告書

問題解決 A4 報告書 北陵バージョン..

クラス: 番号: 氏名: ..

Step1 現状分析

毎日新聞のオンラインサイトにある2014年5月9日の記事「2040年消滅可能性896自治体一覧」によると、沖縄県では10の自治体、神奈川県では9つの自治体が消滅の可能性がある自治体と定義されてしまった。これは、日本創生会議・人口減少問題検討分科会の推計に基づくものである。..

(参考 URL <https://mainichi.jp/articles/20140509/mog/00m/040/001000c>)..

三大都市圏への人口の流入数は2013年に約9万人にもなった。このままでは、多くの地方自治体がなりたたなくなってしまう。..

Step2 原因分析 (WHY ツリー)

..

..

Step3 目的の共有

50年後、..
孫にも沖縄、箱根を
満喫してもらおう！..



沖縄・箱根町の企業や人に利益
をもたらし、沖縄・箱根町の税収
を増やし、環境維持や観光産業の
発展に繋げたい！..

Step4 解決策 (HOW ツリー)



問題解決A4報告書

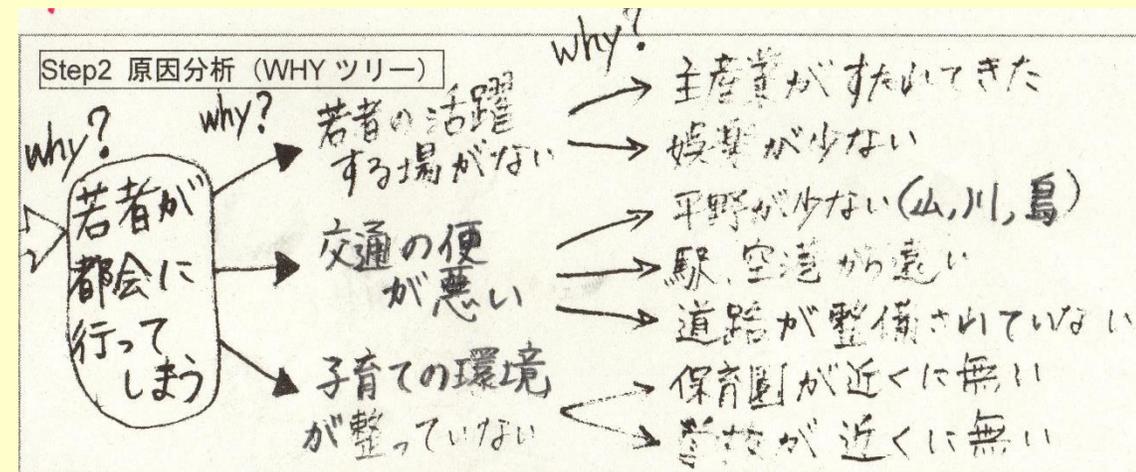
• ステップ1 現状分析

「2040年消滅可能性896自治体一覧」によると、沖縄県では10の自治体、神奈川県では9つの自治体が消滅の可能性のある自治体と定義されてしまった。これは、日本創生会議・人口減少問題検討分科会の推計に基づくものである。

(参考URL : 毎日新聞のオンラインサイトにある2014年5月9日版記事)

• ステップ2 原因分析(WHYツリー)

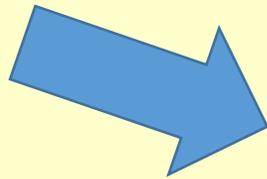
※ 教員がWHYツリーを作っておく



問題解決A4報告書

・ステップ3 目的の共有

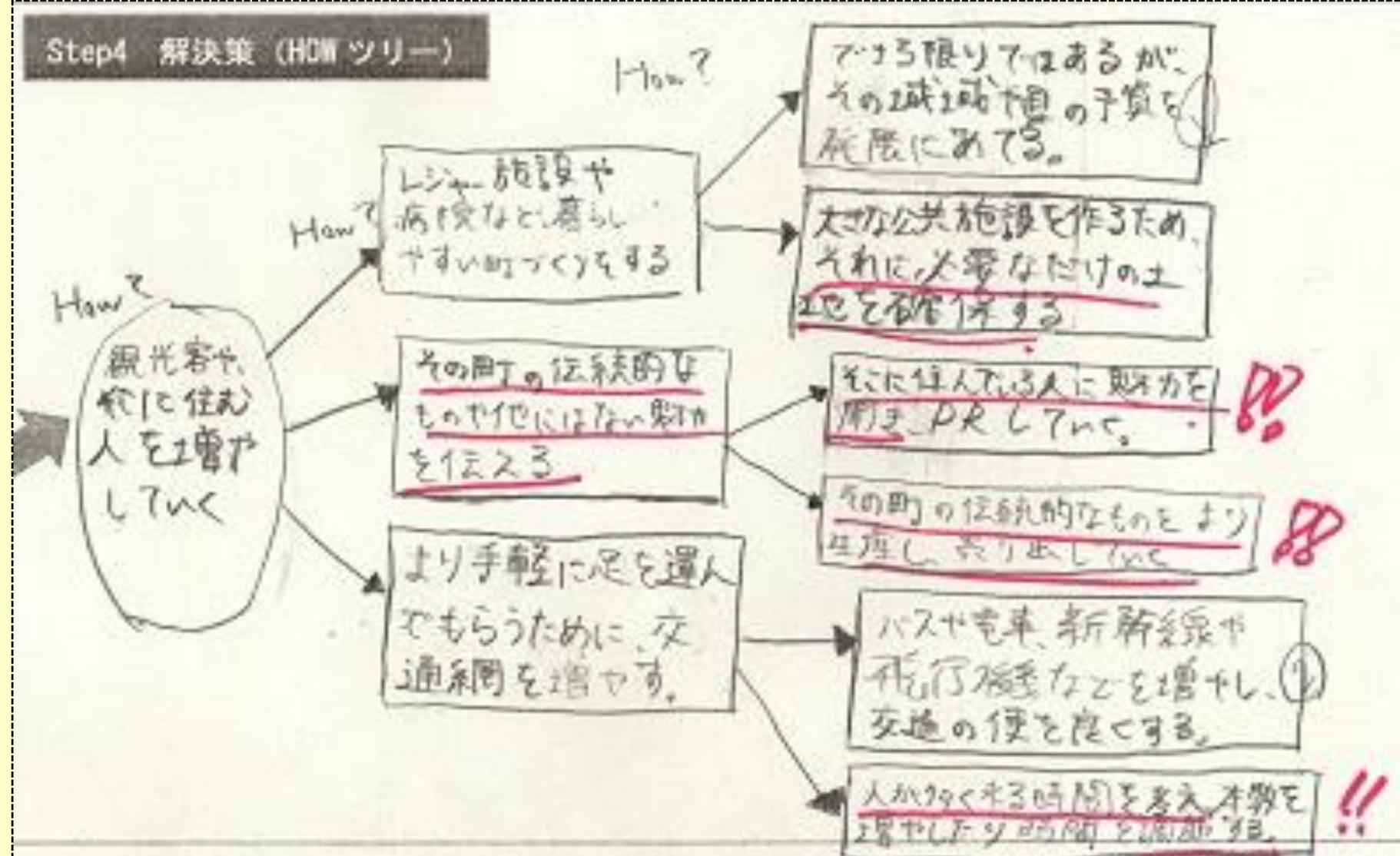
50年後、
孫世代にも沖縄、
箱根を満喫して
もらおう！



沖縄県・箱根町の企業や人に
利益をもたらし、沖縄県・箱根
町の税収を増やし、環境維持や
観光産業の発展に繋げたい！

問題解決A4報告書

• ステップ4 解決策立案 HOWツリー



解決策報告会

- | | | | |
|--------------|-----|---|-----|
| 1. 個人の活動 | 10分 | ～ | 15分 |
| 2. グループ内発表 | 10分 | ～ | 5分 |
| 3. 代表者決め | | | |
| 4. 全体発表・相互評価 | 20分 | | |
| 5. 感想記入 | 5分 | | |

地方の成功事例について知る

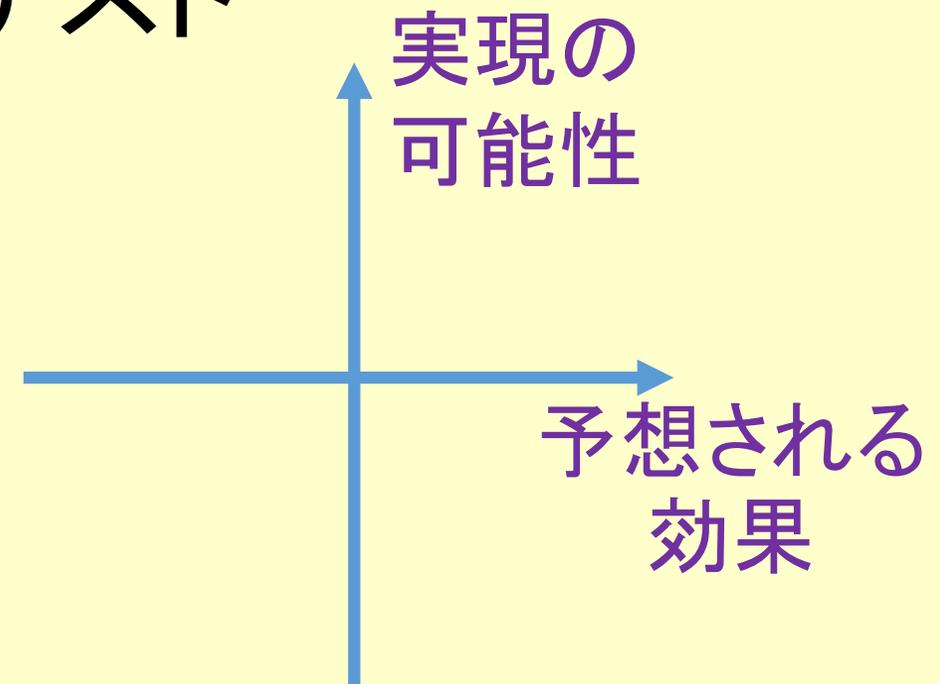
- サテライトオフィス
- 自治体クラウド
- 自動運転の町

資料(デジタルデータ)を見ながら、プリントに記入して、ポイントをまとめる。

実現可能なアイデアを見つける

地方創生☆政策アイデアコンテスト

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 準備 | 5分 |
| 2. マトリクス図 | 25分 |
| 3. アイデアを1つに絞る | 5分 |
| 4. プロジェクト名を考える | 3分 |
| 5. 発表 | 12分 |



まとめ

生徒の取り組み具合はどうだったか？

生徒の力を伸ばすことができたのか？